



谷原小だより 2月号

令和4年2月1日
練馬区立谷原小学校
校長 池上 育志

★ 今年度もあとわずか

副校長 唐澤 邦男

「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る。」毎年正月が過ぎると聞かれるようになる言葉です。確かに、3学期が始まると時間の進み方が1学期や2学期に比べて不思議と早く感じるものです。正月が終わったばかりとっていると、もう3月が間近で、2月は格別早く過ぎるように感じるのは、正月等の行事が多かったり、2月が28日しかなかったりすることも大いに影響しているのでしょうか。そんなこんなで今日から2月です。

2月に入ると、卒業を迎える6年生にとっては、小学校6年間の締めくくりの時期に入ります。また、クラブや委員会活動などのバトンを下級生にわたしていくことにもなります。そして、下級生はお世話になった6年生へ感謝の気持ちを届ける準備に入ります。残念ながら、コロナ禍のために異学年と共に活動することが今年度も少なかったため、6年生の活躍する場面を見る機会や6年生と一緒に活動する機会が少なかった1年間でした。それでも、6年生は下級生に思いを託していき、下級生は6年生の思いを引き継ぎ実践していくなど、1年間の締めくくりになるような2月にしていきたいと考えています。

まだまだ、新型コロナウイルスの猛威は続きそうです。マスクの正しい着用、手洗い、うがい、三密の回避、換気等の感染対策の徹底で感染を予防していきましょう。また、家族に症状があるときは、家庭での経過観察や休養、そして早めの受診をお願いします。

～お知らせ～

集団登校については、2月はいりません。
3月以降については、追って連絡いたします。

2月の予定

日	曜	予定			
1	火	新1年生保護者会	14	月	全校5時間授業
2	水	安全指導日	15	火	社会科見学4年
3	木	健康の日	16	水	社会科見学5年
4	金		17	木	展覧会（児童鑑賞日）
5	土		18	金	展覧会（児童鑑賞日）
6	日		19	土	展覧会（保護者鑑賞日）
7	月	展覧会会場準備6年 6校時	20	日	
8	火	避難訓練	21	月	振替休業日
9	水	全校4時間授業	22	火	パラスポーツ選手との オンライン交流6年
10	木		23	水	天皇誕生日
11	金	建国記念日	24	木	社会科見学6年
12	土	土曜授業3時間授業 公開なし	25	金	くすのき校外学習 パラスポーツ体験6年
13	日		26	土	
			27	日	
			28	月	クラブ活動

◇ 令和3年度 保護者・児童アンケートの結果について

令和3年12月に保護者の方と児童にアンケートを実施しました。(児童数766の内、保護者の方に回答いただいた数552 72%の回答をいただきました。)多くの保護者の方に回答していただきました。ご協力に感謝いたします。概ね肯定的な評価をいただきました。アンケート項目のうち、保護者と児童の共通項目についてお知らせします。

項目	保護者 (%)	児童 (%)
分かりやすい授業が行われているか	76.3	90.9
家庭学習の習慣が身に付いているか	84.6	81.5
読書の習慣が付いているか	54.4	69.5
落ち着いた学校生活となっているか	84.6	86.9
思いやりのある子供に育てているか	86.1	84.4
すすんで挨拶しているか	71.0	83.7
家庭や地域のきまりを守っているか	93.5	88.5
早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣が身に付いているか	87.8	83.2
危険から身を守る力が付いたか	82.9	84.7
地域への親しみをもっているか	73.4	87.7

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、多くの学校行事や地域の行事が中止になることがあったので、例年と同じように比較することが困難なことがあります。アンケート結果から考えられることを記載します。

「分かりやすい授業が行われているか」について

児童の結果は、7月よりも0.1ポイント、保護者の方の結果は7月よりも9ポイント上昇でした。しかし、コロナ禍前である一昨年は、保護者86%であったため、約10ポイントのマイナスとなりました。

これは、昨年度から土曜日など公開日がなかったことが要因として考えられます。保護者の方の20.3%が「分からない」と回答されたことから、直接お子様の学校での様子を参観できなかったためこのような結果になったと考えられます。今後も学校ホームページの「できごと」の更新回数を増やし、お子様の活躍の様子をお伝えしたいと思います。

「すすんで挨拶をしているか」について

この項目では、保護者の方の肯定的回答が7月よりプラス3ポイントとなりました。これは、12月に6年生の実行委員会が実施した挨拶運動が関係しているかと考えます。しかし、コロナ禍前と比較すると、約8ポイントマイナスとなっています。コロナ禍では、マスク着用が当たり前になり、元気よく挨拶をするということが難しい面もあります。気持ちよく過ごせるための第一歩が礼儀正しい挨拶をすることですので、引き続き挨拶の指導を重視します。

「地域への親しみをもっているか」について

先述のように、照姫まつりや夏まつりなど地域の多くの行事も中止や延期になりました。これまで当たり前のようにできていた地域の行事がなくなり、参加できなくなったからこそ、谷原小を支えてくださっている地域の方々への親しみが増したのだと思います。(保護者の方は7月比プラス6.4ポイント、昨年度比プラス1.4ポイントでした。)

「読書の習慣が付いているか」について

学校では、朝読書を週に3～4回、朝の時間に実施しています。また、年2回の読書週間を実施しています。朝の時間や読書週間に読書をする習慣は身に付いているものの、自宅等で読書をする習慣が身に付いていない様子がわかります。常に本を身近に置き、読書する楽しさやよさを引き続き指導してまいります。(児童は7月比マイナス3.7ポイント、昨年度比マイナス2.5ポイントでした。)

「自分にはよいところがある」

「自分のしている仕事はみんなの役に立つ」について

表にはありませんが、児童アンケートのみの2つの項目(自己有用感に関する)の肯定的回答が低いことがやや目立ちました。(よいところは73.5%で、役に立っているは72.7%でした。昨年度と同等ポイント)谷原っ子は、学年問わず自分の仕事(当番活動や係活動など)にとっても意欲的に活動しています。それが、学級や学年などみんなのために役立っているのは教員からみて明らかです。谷原っ子がより自分の仕事に誇りをもち、自信が高まるよう教員からの声掛けなどの工夫をし、谷原っ子の活動を価値付けることによって、自己有用感を高めさせたいと考えます。



展覧会

「ひとひひとひの思いが輝く」

図工担当 高橋 史樹

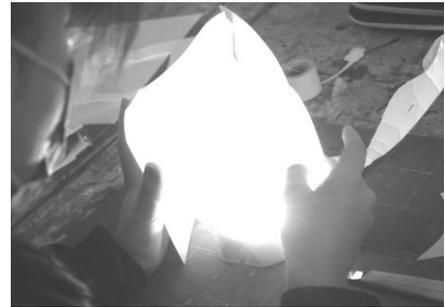
今年度の展覧会も子供たちの思いから始まる表現が集まりました。「楽しい」「嬉しい」「ワクワクする」などの思いはいつだって子供たちが自ら成長しようとする根っこを育てます。

表現は自分の思いを形にする活動です。ひとりひとりの子供たちが自分の中にある曖昧な、でもとても大切だと感じることを色や形で表現することで、実感をもって“自分”と出会い、“自分”に気づき、“自分”と向き合い、確かな“自分”をつくりあげていきます。それが子供の成長を支える根っこになります。

時には迷ったり失敗したりしながらも表現することを楽しみ、精一杯自分の力を試す喜びを味わっている子供たちの表現からは、「私はこんな風を感じたよ。」「ぼくはこんな風に考えたよ。」「私はこんなことを大切にしたいよ。」などのたくさんの思いが輝きをもって伝わってきます。

元気な、優しい、ユニークな、かわいい、ちょっといたずら好きな、ひとりひとりの子供たちのかけがえのない「輝き」を展覧会の会場の作品から、感じていただければ幸いです。

鑑賞の時間や方法については、追ってご連絡させていただきます。



ふわふわ言葉、ちくちく言葉～保健室より～

養護教諭 坪田 朝子

「ふわふわ言葉」、「ちくちく言葉」という言葉を知っていますか？最近ではよく耳にするようになりました。例えば、「ありがとう」「がんばって！」「すごいね」など、言われると気持ちがふわふわして嬉しくなるのが「ふわふわ言葉」です。「ふわふわ言葉」を聞くと、勇気が湧いたり、自己肯定感が上がったりします。これに対して、「ばか」「むかつく」「さいてい」など、言われると悲しくて、心が傷つくのが「ちくちく言葉」です。「なんで言うこと聞かないの。」「どうしてできないの？」という、相手を責めるような言葉も、相手を傷つけてしまうので、「ちくちく言葉」に入ります。

ですが思わず、そんな「ちくちく言葉」をお子さんにかけてしまうことはありませんか？特に小さなおさんは、好奇心いっぱい大人が目を離すと何をするかわかりません。危険なことだってします。そんな時にとっさに、「ちくちく言葉」が出てしまうことが多いようです。「ちくちく言葉」を言われ続けると、「自分はダメなんだ。」と思い込んでしまいます。「どうしてできないの？」から「あとちょっとだったね。」と少し言い方を変えて、相手を励ますような「ふわふわ言葉」を使うことが大事です。

保健委員会では、ふれあい月間に合わせて『「ふわふわ言葉」の森』の掲示物を作成しました。保健委員一人一人が、言われて心が温くなる言葉を考えました。保健室では、「ありがとうございました。」「何か手伝うことはありますか？」など、たくさんのふわふわ言葉が溢れています。「大丈夫？」「一緒に遊ぼう」など、学校中が「ふわふわ言葉」で溢れてほしいと思っています。